

<目次>

- p. 1 ・ ・ ・ BLMC 会員の皆さまへご挨拶
p. 1-4 ・ ・ ・ ピュラトスジャパン株式会社
 取締役社長ジャン・ピエール ベルナルディノ さまのインタビュー
p. 4 ・ ・ ・ 会員様の情報
p. 5-9 ・ ・ ・ 大使館・各団体からのお知らせとニュース
p. 9-11 ・ ・ ・ 大阪万博の写真・当会副会長とノーベル化学賞北川先生の写真

BLMC 会員の皆様

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。ようやく秋らしい気候になってまいりました。万博も無事に閉幕し、これから年末に向けて慌ただしくなる時期かと思えます。どうぞご自愛ください。さて、今回のニュースレターは、ピュラトスジャパン株式会社の取締役社長、ジャン・ピエールベルナルディノさんにインタビューを行いました。

ピュラトスジャパン株式会社



ー今日はお忙しいところお時間をありがとうございます。早速ですが、御社の製品の強みについて教えてくださいか？

強みと言いましても色々ありますが、ピュラトスの 1 番の強みはその技術力です。ベーカリー、パティスリー、チョコレート の 3 部門どの分野においてもその研究開発からの技術力は我が社の誇りでもあり、まさにロゴにある “Food Innovation for Good” の Innovation であります。

ーなるほど、では各分野におけるその工夫などをお聞かせいただけますか？

まず、ベーカリー部門ですが、「ブレット・インプルーバー」という製品があります。1953 年世界初の開発で、これにより製パン工場では毎回安定した品質のパンが作られることになりました。パン生地には色々な食感を生み出したり、冷凍のパン生地の保存期間を延ばしたり、パン生地そのもののだけでなく、ラインでの製造における生地へのダメージも減らしたりなどその機能は多岐に渡ります。



-画期的な技術力ですね！ パンそのものだけでなく、その製造過程全てにおいても改良が見られるのですね！

はい、我が社の自慢の一つです。パティスリー部門は、「グレーズ」というコーティングの材料ですが、様々な種類を取り揃えていて、ケーキの乾燥を防ぐだけでなくケーキを最大限に魅力的に見せることができます。また、ケーキなどに塗布したグレーズがダレないような技術もそうです。

-今度からケーキを見るときに、思わずそれまでのこういった技術を想像してしまいそうです。チョコレート部門ではどのような工夫がされているのでしょうか？

チョコレートですね、我が社には「カカオ・トレース」というサステナブルプログラムがあります。カカオ豆生産農家を支援することで、我々は高品質なカカオ豆から美味しいチョコレートを得られ、生産農家の方々は市場よりも良い値でカカオ豆を売ることができるというまさにウィンウィン効果です。

-農家の方々をどのように支援しているのですか？

カカオ豆の木のベストな管理の仕方から肥料のやり方など全てに関してです。そこからカカオ豆を発酵する工場でもしっかり責任を持って管理しています。チョコレートの風味は何といてもカカオ豆の発酵の仕方にかかっていますから。



-チョコレートは発酵物なのですね？ 納豆のような？

そうです。発酵がチョコレートの深みにつながるのですよ。カカオ豆の中にはカカオパルプに包まれた種がぎっしり入っていますが、これを収穫後すぐに木箱に並べて置くと、数時間で発酵がスタートします。

-ただ置いているだけですか？

はい、木箱に残っていた菌や空気中にある菌が、その種のカカオパルプを食べてくれるのです。だいたい6時間程経ってから、麻の袋を被せますと外気を遮断することによって、今度はアルコール発酵が始まります。収穫から1日から2日ですね。そこで産まれたエタノールが次の酢酸発酵のもとになるのです。



-アルコール発酵の次が酢酸発酵ですか？



そうですね。麻袋を取り、定期的にかき混ぜ、空気にさらすのです。ここまでの過程でももちろん発酵学に詳しいピュアトスの技術者が徹底した管理を行っています。木箱もアカシア製であったり、麻袋の内部温度やカカオのかき混ぜ具合など全てにおいてですね。

-カカオの収穫から発酵を終えるまでどのくらいかかりますか？

7日間ですね。そこから約2週間天日で乾燥させます。それから外の殻を取り、大きな機械ですりつぶしていきます。それが硬いペーストの「黒いカカオマス」になります。それをさらに圧搾したら「白いココアバター」と「黒いココアパウダー」ができます。簡単にいうと、ダークチョコレートは「カカオマス+砂糖」で、ホワイトチョコレートは「ココアバター+砂糖+ミルクパウダー」、ミルクチョコレートは「カカオマス+ミルクパウダー+砂糖」ということになります。

-まるで家庭科の研修を受けているようで、とてもわかりやすいです。よく、店頭にかカオ70%とかパッケージに書いてあるのは？

その数字はカカオ原料（カカオマスとココアパウダー）の量になります。ダークチョコレートでカカオ70%の商品は、カカオ原料が70%、残りの30%が砂糖ということです。

-なるほど！ おっしゃる通りですね。

「カカオ・トレース」というこのプログラムでは、チョコレートの売り上げ金の一部をプールして契約農家さんに「チョコレート・ボーナス」を支給し、彼らのコミュニティに還元しています。毎年売り上げが伸びてきているので、我々は彼らのおかげで「美味しいチョコ」を、彼らは「チョコレート・ボーナス」を受け取ることができお互いにウィンウィンですよ。



「いい循環ですね！それにしても「カカオショック」で、チョコレートの価格は倍になりましたね。もう簡単に板チョコも買えません。

私は、「カカオ・トレース」が現在の「カカオショック」への有力な対応策になり得ると考えています。気候変動やカカオ豆に影響を与える病害など、課題は多岐に渡りますが、ピュラトスの持つイノベーション力によって、世界中のさまざまな地域でこのプログラムを実施することにより、状況が少しでも良い方向に向かうことを期待しています。

本日はご多用のところ、また暑さ厳しき中、貴重なお話をお聞かせいただき誠にありがとうございました。今後、ますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。



<会員様の情報>

住友化学株式会社様が、千葉地区に建設した研究棟「Innovation Center MEGURU」が、第38回日経ニューオフィス賞を受賞されました。MEGURUは、分野を越えたシナジーを生み出す空間形成や自然なコミュニケーションが生まれる工夫があるほか、「ラボ」と「オフィス」という性格の異なるものが機能的に配置されているという点が評価されたようです。

皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



＜各関係機関と組織から＞～9月から12月までのイベントやニュース～

*ベルギー大使館

9/13-17 ベルギー連邦政府から大臣3名が来日
ダヴィッド・クラランヴァル副首相 兼 雇用・経済農業大臣、マキシム・プレヴォ副首相 兼 外務・欧州問題・開発協力大臣、ヴァネッサ・マッツ公共事業近代化担当大臣の3名が来日しました。大臣たちは大阪・関西万博を訪問し、ベルギー館や日本館をはじめとしたパビリオンを訪問しました。大阪・広島・東京・愛知を訪れ、各地で企業訪問や日本政府関係者たちとの会談の機会を持ちました。

9/14 ベルギーナショナルデー
クラランヴァル大臣とマッツ大臣ご臨席のもと、大阪・関西万博でベルギーナショナルデーが開催されました。公式イベントやアーティストによるパフォーマンスが行われ、多くの来場者に楽しんでいただきました。

10/18-1/6 ベルギーフェア in 横浜
横浜ベイシェラトンホテル&タワーズの「オールデイダイニング コンパス」でベルギーフェアが開催されています。ランチとディナーでベルギー料理をオーダービュッフェ形式でお楽しみいただけます。開催期間：2025年10月18日（土）～2026年1月9日（金）



*ルクセンブルク東京貿易投資事務所

10/3 新大公殿下ご即位 10月3日、ルクセンブルク大公国では、アンリ大公殿下がご即位から25年となるこの節目に退位され、ギョーム皇太子殿下が新大公に即位されました。即位式の翌日、新大公殿下並びに大公妃殿下はルクセンブルクの5つの都市を訪れ、各地はお祝いムードに包まれました。

10/6-9 ルクセンブルクのベンチャー：YURI が来日し、Bio Japan に出展 宇宙創薬のためのインキュベータを開発しているルクセンブルクのベンチャー企業：YURI が、日欧産業協力センター主催のバイオテックミッションに参加し、来日しました。期間中は大阪で日欧バイオテック&ファーマ・パートナーリングカンファレンスに参加した他、パシフィコ横浜で開催された Bio Japan ヘブース出展しました。

10/12

大阪・関西万博開幕 ルクセンブルクパビリオン、サステナビリティ賞受賞！



大阪万博でのルクセンブルク館は盛況のうちに閉幕し、合計 37 万 8,000 人の来場者を迎えました。ルクセンブルクのロイヤルファミリーや閣僚をはじめとする多くの要人に加え、会期中来日した 2 つの経済使節団には、95 の企業・機関から 160 名が参加し、両国の経済交流を押し進めました。万博閉幕直前の 10 月 12 日に、博覧会国際事務局（BIE）賞表彰式があり、「建築・景観」

「展示デザイン」「テーマ解釈」「サステナビリティ」の 4 部門で審査が行われました。敷地面積 1500 m²未満、自前建設パビリオンの部門で、ルクセンブルクパビリオンがサステナビリティ賞に輝きました。本パビリオンは、「サーキュラー・バイ・デザイン」のコンセプトを掲げ、設計から解体後の実際の建築資材再利用まで、徹底して循環性達成を目指してきました。デザインの実現から各部材などの再利用プロジェクトまで、循環経済達成と一緒に取り組んで下さったパートナーのご協力のおかげです。ルクセンブルク館の取り組みは注目を集めており、9 月には、三井住友銀行主催の「サーキュラーエコノミー・コネクト Vol.1」ならびに、株式会社船場主催の「エシカル・デザイン・フォーラム」という 2 つのイベントに当事務所の松野が登壇し、ルクセンブルクパビリオンのコンセプトと再利用に向けた活動の具体例を紹介しました。

10/15

「東京・サステナブル・ファイナンス・フォーラム」にて、「サステナブルの国際連携と競争戦略」と題したパネルディスカッションにミシェル・レーシュ大使が登壇しました。国際的なサステナブルファイナンスハブとして知られるルクセンブルク金融センターの代表的な取り組みを紹介しました。

11/25

「Will Quantum Change the Equation for the Financial Markets?」

Bullhound Capital、Luxembourg Future Fund、ルクセンブルク貿易投資事務所の共催で、11 月 25 日の午後 都内ホテルにて表題のイベントが開催されます。量子技術が金融市場にどのような変化をもたらすのかをテーマにしております。ご関心のある方は、ルクセンブルク貿易投資事務所までお問い合わせください。

*ベルギー・フランダース政府貿易投資局

10/8-10 「フランダース・ライフサイエンス・ウィーク・イン・ジャパン」をBioJapanにて開催しました。フランダースの企業10社が参加し、多くのB2Bミーティングが行われました。120席の会場は満席となり、ネットワーキングイベントも大盛況でした。



10/5-10



アニック・デ・リッダー港湾大臣を団長とする「フランダース港湾ミッション」を実施しました。東京、名古屋、神戸、大阪の4都市で、企業訪問、投資セミナー、要人との交流会、大阪・関西万博の視察など、多彩なプログラムを実施しました。

11/2-3

VLAM (www.vlam.be) 主催による6社のフランダース産豚肉輸出業者の来日ミッションを支援しています。本ミッションは東京で実施予定で、店舗視察や日本食肉輸入協会との会合、大使館でのB2Bネットワーキングイベントが予定されています。

*ブリュッセル首都圏政府貿易投資局

9/8-12 大阪・関西万博 ブリュッセル・ウィーク アパレル・デザイン関連や建設・建築関係のブリュッセル企業が来日し、大使館公邸でのアパレル・デザイン展示会や建築セミナー、大使館やベルギーパビリオンでのレセプション等様々なイベントを開催。東京と大阪で企業訪問も行いました。ブリュッセル首都圏政府首相も来日し、セミナーやレセプションでのスピーチ、東京と大阪



(近鉄百貨店) で開催されたアパレル・デザインイベントの視察等をされました。クラフトグループの9人の参加者のうち、今回4人が日本のパートナーやバイヤーとの具体的な成果につなげることができました。

*ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

9/2-28 ベルギー芸術家ディミトリ・ピオ氏作品の展覧会開催@田川市石炭・歴史博物館

10/8-10 Bio Japan / 再生医療 JAPAN 2025
(BIO Japan & Regenerative Medicine Japan 2025)に出展 ワロン地域から5社が参加

10/28 サクソフォン奏者の坂田 明氏と、ベルギーの漫画家・小説家のアリックス・ガラン (Alix GARIN) 氏 (認知症の祖母を施設から連れ出して旅に出る主人公を描いた『わたしを忘れないで (Ne m' oublie pas)』の著者) の共演による上演会「サクソグラフィー」を開催 @ ベルギー大使館



10/27-11/5 都内の各劇場を会場として開催される映画祭、「第38回東京国際映画祭 (The 38th Tokyo International Film Festival)」にベルギー・フランス語圏から映画2作品が参加。

キカ (原題 Kika)

10月29日 (水) 20時30分上映開始 会場 丸の内ピカデリー (千代田区)

11月2日 (日) 21時10分上映開始 会場 TOHO シネマズ 日比谷 スクリーン 12・13 (千代田区)

11月4日 (火) 21時00分上映開始 会場 TOHO シネマズ 日比谷 スクリーン 12・13 (千代田区)

ヴィトリヴァル (原題 Vittrival - The Most Beautiful Village in the World)

10月28日 (火) 20時10分上映開始 会場 丸の内ピカデリー (千代田区)

11月1日 (土) 17時15分上映開始 会場 丸の内ピカデリー (千代田区)

*BLCCJ (ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所)

9/2 商工会議所間合同 大阪・関西万博訪問

9/11 9月のビアギャザリング @ BBC アントワープポート

9/16 商工会議所間合同 若手交流 スピード・ネットワーキング

9/17 アジアのベルギー・ルクセンブルグ商工会議所 (BLCC) 会員オンライン交流会

9/28 Welcome Exchange Students (留学生歓迎説明会) @ 駐日ベルギー王国大使館

9/30 BJA x BLCCJ 大阪・関西万博ウェビナーシリーズ第3弾「ベルギーパビリオンに関わる企業紹介」

10/02 10月のビアギャザリング @ BBW 六本木 - BLMC との合同開催

10/09 ベルギービール&フードアカデミーin 大阪 @ ヒルトン大阪

10/10 BLCCJ 大阪・関西万博訪問



- 10/16 ウェビナー「企業に潜む現代奴隷制、その現状を知る」
- 10/23 欧州商工会議所間合同カクテルパーティ 2025
- 10/25 5K ファン・ラン & ネットワーキング @ 駐日ベルギー王国大使館
- 10/31 BLCCJ 働く女性のディスカッションサークル 第2弾 @ 駐日ベルギー王国大使館
- 11/07 株式会社 IHI ポールワース 企業訪問
- 11/10 11月のビアギャザリング @ 1'abreuvoir トラフ
- 11/18 BeLux ビジネストーク: ベルギーにおけるアリゾナ新政権の税制改革 @ デロイトトーマツ東京オフィス
- 11/28 BLCCJ ガラ・パーティ 2025 @ コンラッド 東京
- 12/3-7 ベルギーショップ出店 @ BBW 新宿 2025 - BLMC との合同出店
- 12/16 BLCCJ 年次総会 @ 駐日ベルギー王国大使館



＜大阪万博の写真・当会副会長とノーベル化学賞北川先生＞

～世界を変える研究とそれを支えるグローバル企業～



BLMC の副会長の所属するソルベイ社とゆかりの深い京都大学副学長の北川進先生が、この度めでたくノーベル化学賞を受賞されました。北川先生は 2017 年にソルベイ未来化学賞を受賞されました。添付の写真は 2018 年にベルギー大使館で行われたソルベイ未来化学賞受賞記念講演の一コマです。ちなみに、ソルベイ未来化学賞の受賞者 6 名のうち、4 名がノーベル賞を受賞されています。



～大阪・関西万博 関係者の皆様お疲れ様でした！～

←オメガ GANG (ベルギーナショナルデーにて仮装行列) 迫力満点！



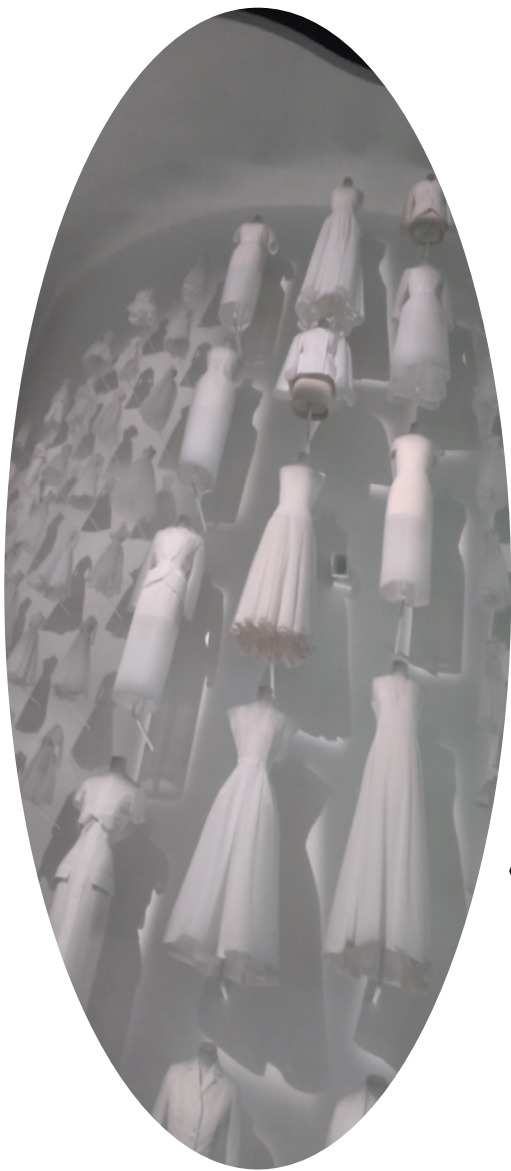
↑→
ベルギーナショナルデーの夜は
パビリオン前はもうコンサート会場！



ルクセンブルクパビリオンの天井膜を万博終了後、 →
回収し作成される予定のバッグ。サステナブルですね！



←フランスパビリオン
約 400 点のトワール by ディオール



→
イタリアパビリオン
『ファルネーゼのアトラス』
人類史が積み上げてきた巨大な
知を象徴するもの

→
中国パビリオン 古代中国の書物「竹簡」がモチーフ



以上
BLMC オフィス・マネージャー
井宮 さおり